

手仕上げ（文鎮製作）

実習目標

文鎮の製作を通じて機械の使用方法や金属の性質・加工などを体得する。

使用機器及び工具

スケール（鋼尺）、ノギス、ハンマー、けがき針、トースカンポンチ、定盤、たがね（えぼしたがね・ひらたがね）、やすり弓のこ、卓上ボール盤、万力、タップ、タップハンドル

実習内容

文鎮の製作

1 けがき作業（けがき針）

けがき針を用いて、鉄の棒に線を引く。



2 材料（鉄の棒）の切断

弓のこで材料に切込みを入れる。



3 はつり作業（たがね）

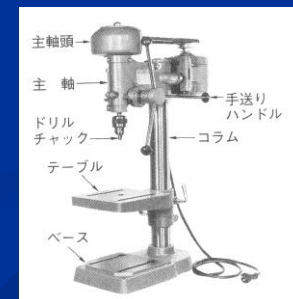
材料にたがねとハンマーを用いて、材料を削りとっていく

4 やすり作業

やすりを用いて材料を磨く。

5 穴あけ作業（卓上ボール盤）

文鎮のつまみを付けるためのねじ穴を開けタップでねじ切りをする。



6 仕上げ

スプレーを用いて文鎮を塗装する。